



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	22,635	△1.7	1,531	△5.7	1,693	7.8	1,901	68.5
29年3月期第3四半期	23,036	2.8	1,623	26.9	1,571	20.1	1,128	29.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,890百万円 (ー%) 29年3月期第3四半期 △1,960百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	65.24	65.22
29年3月期第3四半期	41.99	41.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	42,311	33,631	79.5	1,134.18
29年3月期	39,755	28,937	72.7	1,080.96

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 33,619百万円 29年3月期 28,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
30年3月期	—	8.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△0.8	1,150	△34.4	1,200	△21.7	1,480	46.2	51.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	29,662,851株	29年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	20,918株	29年3月期	2,920,750株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	29,141,994株	29年3月期3Q	26,873,180株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では良好な雇用環境を背景として個人消費が底堅く推移し、また、欧州では好調な輸出が景気の牽引役となるなど、総じて堅調な状況が持続いたしました。また、国内経済は、近隣諸国における地政学的リスクはあるものの、企業収益の改善や設備投資の持ち直しなどから、緩やかな回復が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境について、ゲーミング市場では、北米地域における新設カジノの減少に加え、ドイツにおける法規制に伴う市場の縮小に対する懸念などから需要は軟調に推移いたしました。また、コマーシャル（金融・流通・交通等）市場では、欧州地域や国内において安定的な需要がみられました。一方、日本国内を対象とする遊技場向機器市場では、遊技機規制の改正などの影響による先行きの不透明感から、設備投資の抑制傾向が続きました。

このような状況の下、当社グループは、ゲーミング市場向けには、同業他社との価格競争が続く中、市場シェアの確保、新規商材の販売に努めるとともに、コマーシャル市場向けには、国内外を問わず高付加価値製品の販売拡大を進めました。また、遊技場向機器市場では、事業譲受けにより販売ラインナップに追加した製品の積極的な営業展開を図り、売上高の確保に注力いたしました。

しかしながら、主力のゲーミング市場における売上げの減少が影響したことなどから、当第3四半期連結累計期間における売上高は226億35百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は15億31百万円（前年同四半期比5.7%減）となりました。一方、経常利益は、外貨建資産に係る為替時価換算差益の計上等により、16億93百万円（前年同四半期比7.8%増）、特別利益として訴訟和解金を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億1百万円（前年同四半期比68.5%増）となりました。

なお、当第3四半期の為替レートは、米ドル111.81円（前年同四半期は108.82円）、ユーロは125.25円（前年同四半期は121.03円）で推移いたしました。また、決算期末の時価評価に適用する期末日為替レートは、米ドル113.06円（前連結会計年度末は112.18円）でありました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①グローバルゲーミング

北米地域では紙幣識別機ユニット等の需要が減少し、また、欧州地域ではドイツにおける法改正に伴い買替需要が低下したことなどにより、当セグメントの売上高は113億31百万円（前年同四半期比8.9%減）、セグメント利益は21億58百万円（前年同四半期比8.1%減）となりました。

②海外コマーシャル

北米金融市場向け紙幣識別機ユニットの販売は減少いたしました。また、欧州向けの紙幣還流ユニットの販売が好調であったことなどにより、当セグメントの売上高は29億20百万円（前年同四半期比8.4%増）、セグメント利益は4億47百万円（前年同四半期比99.8%増）となりました。

③国内コマーシャル

OEM顧客向けの貨幣処理機器ユニット等の販売が好調であったことなどにより、当セグメントの売上高は18億82百万円（前年同四半期比38.7%増）、セグメント利益は2億30百万円（前年同四半期比519.5%増）となりました。

④遊技場向機器

メダル自動補給システムなど主力製品の販売が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は65億円（前年同四半期比0.6%減）、セグメント利益は87百万円（前年同四半期比64.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は423億11百万円となりました。「現金及び預金」が「短期借入金」の返済により減少した一方で、新株予約権を利用した資金調達や訴訟和解金の受取りにより増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ25億56百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は86億79百万円となりました。「短期借入金」が返済により減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ21億38百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は336億31百万円となりました。新株予約権の行使による自己株式の処分により、「自己株式」が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ46億94百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間では、税金等調整前四半期純利益31億16百万円、減価償却費7億19百万円の資金の増加があった一方で、引当金の減少2億18百万円、たな卸資産の増加1億34百万円、法人税等の支払額3億6百万円などの資金の減少がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは33億59百万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出5億58百万円などの資金の減少がありましたので、5億76百万円の資金の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出32億20百万円、配当金の支払額4億95百万円などの資金の減少がありましたが、新株予約権の行使による自己株式の処分による収入32億79百万円などの資金の増加がありましたので、4億95百万円の資金の支出となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額1億1百万円の資金の増加がありましたので、現金及び現金同等物は95億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億89百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想数値につきましては、平成29年11月13日付にて発表した業績予想数値から変更はありませんが、今後の需要動向などの影響を確認の上、適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,166,931	9,556,546
受取手形及び売掛金	6,013,379	6,457,398
有価証券	23,309	78,977
商品及び製品	8,039,619	7,578,241
仕掛品	639,501	771,100
原材料及び貯蔵品	2,706,568	3,173,328
その他	1,747,447	1,550,903
貸倒引当金	△212,194	△198,486
流動資産合計	26,124,563	28,968,009
固定資産		
有形固定資産	4,991,188	4,964,204
無形固定資産		
のれん	2,291,518	2,093,825
技術資産	391,124	320,829
顧客関連資産	3,374,108	3,072,868
商標権	451,267	412,271
その他	128,633	133,472
無形固定資産合計	6,636,651	6,033,266
投資その他の資産		
その他	2,059,157	2,401,119
貸倒引当金	△56,025	△54,703
投資その他の資産合計	2,003,132	2,346,416
固定資産合計	13,630,971	13,343,887
資産合計	39,755,535	42,311,897
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,161,879	3,564,783
短期借入金	3,703,538	457,893
未払法人税等	224,871	1,032,374
賞与引当金	381,654	200,215
役員賞与引当金	21,000	9,000
その他	2,624,066	2,684,621
流動負債合計	10,117,009	7,948,887
固定負債		
その他	701,097	731,009
固定負債合計	701,097	731,009
負債合計	10,818,107	8,679,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,759,048
利益剰余金	27,070,148	28,492,125
自己株式	△2,629,621	△18,849
株主資本合計	28,726,436	33,449,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,098	485,080
為替換算調整勘定	△23,427	△314,981
その他の包括利益累計額合計	180,670	170,098
新株予約権	30,320	12,630
純資産合計	28,937,428	33,631,999
負債純資産合計	39,755,535	42,311,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	23,036,639	22,635,467
売上原価	14,005,905	13,808,809
売上総利益	9,030,734	8,826,657
割賦販売未実現利益戻入額	44,604	37,857
割賦販売未実現利益繰入額	480	11,420
差引売上総利益	9,074,858	8,853,094
販売費及び一般管理費	7,451,791	7,322,090
営業利益	1,623,067	1,531,003
営業外収益		
受取利息	5,481	2,194
受取配当金	13,609	15,882
為替差益	—	148,920
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	67,000	—
その他	33,968	24,336
営業外収益合計	120,059	191,333
営業外費用		
支払利息	27,527	26,444
為替差損	124,602	—
その他	19,313	2,286
営業外費用合計	171,443	28,731
経常利益	1,571,683	1,693,605
特別利益		
固定資産売却益	333	327
投資有価証券売却益	—	3,786
負ののれん発生益	314,000	—
受取和解金	—	2,236,200
特別利益合計	314,333	2,240,314
特別損失		
固定資産売却損	54	2,602
固定資産除却損	4,487	3,897
訴訟関連費用	—	482,304
事業整理損	—	328,267
特別損失合計	4,542	817,071
税金等調整前四半期純利益	1,881,473	3,116,847
法人税、住民税及び事業税	816,951	1,199,008
法人税等調整額	△63,795	16,597
法人税等合計	753,155	1,215,605
四半期純利益	1,128,317	1,901,242
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,128,317	1,901,242

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,128,317	1,901,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,363	280,981
為替換算調整勘定	△3,170,106	△291,554
その他の包括利益合計	△3,088,743	△10,572
四半期包括利益	△1,960,425	1,890,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,960,425	1,890,670
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,881,473	3,116,847
減価償却費	691,298	719,650
のれん償却額	157,354	141,860
負ののれん発生益	△314,000	—
引当金の増減額(△は減少)	△165,001	△218,732
受取利息及び受取配当金	△19,091	△18,076
支払利息	27,527	26,444
為替差損益(△は益)	53,211	△129,259
有形固定資産除売却損益(△は益)	4,209	6,172
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,786
受取和解金	—	△2,236,200
訴訟関連費用	—	482,304
事業整理損	—	328,267
売上債権の増減額(△は増加)	△1,328,737	△524,299
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,401,084	△134,532
仕入債務の増減額(△は減少)	766,047	435,664
未収消費税等の増減額(△は増加)	151,900	△16,241
その他	501,238	△61,511
小計	1,006,346	1,914,571
利息及び配当金の受取額	19,607	17,558
利息の支払額	△27,527	△26,444
和解金の受取額	—	2,236,200
訴訟関連費用の支払額	—	△475,438
法人税等の支払額	△713,667	△306,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,759	3,359,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	232	109
有形固定資産の取得による支出	△296,484	△558,207
有形固定資産の売却による収入	1,212	8,508
無形固定資産の取得による支出	△10,758	△29,865
投資有価証券の取得による支出	△112,403	△1,571
投資有価証券の売却による収入	—	4,834
事業譲受による収入	306,000	—
その他	200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,001	△576,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△515,550	△3,220,522
配当金の支払額	△457,986	△495,691
リース債務の増加による収入	2,926	1,605
リース債務の返済による支出	△78,138	△59,646
自己株式の取得による支出	△300,057	△193
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	3,279,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,348,807	△495,148
現金及び現金同等物に係る換算差額	△557,754	101,197
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,733,804	2,389,614
現金及び現金同等物の期首残高	8,794,795	7,146,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,060,991	9,536,546

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による自己株式の処分により、資本剰余金が690,084千円増加し、自己株式が2,610,965千円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金は2,759,048千円、自己株式は18,849千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,442,225	2,694,554	1,357,776	6,542,082	23,036,639	—	23,036,639
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,442,225	2,694,554	1,357,776	6,542,082	23,036,639	—	23,036,639
セグメント利益	2,348,002	224,274	37,251	246,145	2,855,674	△1,232,606	1,623,067

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外コマー シャル	国内コマー シャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,331,375	2,920,605	1,882,865	6,500,621	22,635,467	—	22,635,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,331,375	2,920,605	1,882,865	6,500,621	22,635,467	—	22,635,467
セグメント利益	2,158,465	447,993	230,767	87,058	2,924,284	△1,393,281	1,531,003

(注) セグメント利益の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。